

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 樫尾 富二
幹事 大谷 恩
広報・会報委員長 萩原 喜代子

No. 37

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

2015～2016年度

RI会長
K.R.ラビンドラン

今日の例会

第1593回 平成28年5月10日(火)

卓話 東山植物園 園長 藤井 辰則様
「パラグアイオニバスとオオオニバスを知る」

先回の例会

第1592回 平成28年4月26日(火) 晴

クラブフォーラム
2016-17年度のための地区研修・協議会報告

◆奉仕の理想

◆ビジター紹介

◆ゲスト紹介 1名

大谷幹事ゲスト(株)愛洋産業 代表取締役 岸 泰至様

◆出席報告

会員 37(31)名 出席 27名

出席率 87.10%

前々回 4/12(修正出席率) 93.33%

大谷幹事報告

- 1) 本日例会終了後、現・次年度合同アゼンブリー、続いて合同理事役員会を開催致します。理事役員、各委員長の皆様は3階「梅の間」へお集まり下さい
- 2) 本日配布ご案内：5月・6月例会内容
- 3) 次回例会は5月10日です。
- 4) 5月のロータリーレート 1ドル=110円

樫尾会長挨拶



本日はニコボックスについてお話しをさせていただきます。ニコニコボックス、スマイルボックスとも呼ばれています。これは会員、家族、事業等のお祝い事、嬉しかった事、身の回りの出来事で何かあった時などにコメントをよせて、ニコニコしながら会員が自発的に寄付をするものです。例会をご無沙汰していたとか、早退するときのお詫びのニコボックスも見られます。千種ロータリーでは会員および夫人の誕生日の時、結婚記念日の時にも毎月ニコボックスに寄付

をいただいています。

ニコボックスはロータリーに特有のものと言われているのですが、世界的に共通の慣例でもないようです。諸外国にはファインボックスというものもあります。これは罰金箱の意味であり欠席、早退等の時に一定額抛出しているようです。またチェストボックスと呼ばれるものもあります。これは目的を定めた募金箱で一定の用途のために資金を集めます。欧米では帽子を回して募金を集めることも多いようです。

アメリカでは1924年頃より例会場の四隅に箱を置き、記念すべき事、良いことがあった時等に自主的に寄付を入れるようになりました。入れたからといって決して誇ってはならないとされ、これがスマイルボックスの始まりと言われています。

日本では1936年(昭和11年)大阪ロータリークラブが最初とされています。当初は遅刻した時に当時の50銭か1円を箱に入れる罰金箱のような存在でしたが、ニコニコに値する会員のお祝い事を他の会員にも共に喜んでもらうようにという提案がありニコニコボックスに変更されたとのことです。

現在日本のロータリークラブではニコボックスがほとんど設置されていますが、各クラブによって特色も少し異なるようです。千種ロータリークラブでは毎年ニコボックスの目標額を定めています。今年度は280万円を予定しています。ニコボックスへの寄付金は会費とは別にクラブ内の各委員会の奉仕活動、記念品代、事業・基金の積立金にも充てられています。良いことがあった会員も特に変化がない会員もメッセージを添えてニコニコしながら今後もニコボックスにご協力いただきたいと思っております。

クラブフォーラム

2016-17年度のための地区研修・協議会報告



人類に奉仕するロータリー

地区研修協議会

2016年4月24日(日)

13:00～17:00

ウェスティンナゴヤキャッスル

ホスト：岡崎城南ロータリークラブ

第1分科会

鈴木 聖三君



第1分科会は「持続可能な地区の輝きを目指して」をテーマに8項目の議題で服部良男ガバナーエレクトを筆頭に熱い説明がありました。

1. 地区での奉仕活動をオープンにし、共有してロータリーのブランドを再認識する。
2. 情熱を持って現在行なっている奉仕活動をさらに発展させ、さらに多くの若いロータリアンが参加して人々の笑顔が感じられるようにする。
3. ロータリー財団の100周年をお祝いする。
4. マイロータリアンを複数選任(幹事、広報、IT委員長)して、ロータリアンの活動を奨励する。
5. ソーシャルメディアの活用(フェイスブック・ツイッター)
6. 各クラブのフェイスブックページをオープンにする。
7. ポリオ撲滅
8. WFF 3年目 実行する。
9. 最近の退職者と若い職業人に働きかけて会員増強を計る。
10. クラブの5年後は、会員増強、奉仕プロジェクト、公共イメージの向上、リーダーの育成が重要。
11. RLIロータリアンのリーダーシップを活用し、深い知識と高い見識をもって草の根運動や、決められたテーマを討議する。

補足 規定審議会より

- ア) 月2回の例会 イ) 入会金の撤廃
- ウ) 職業分類のフリー化 が検討課題にある旨の報告がありました。

第3分科会 広報・雑誌・IT

小林 英毅君



テーマは「ロータリーの公共イメージを皆で広めよう、各委員会との連携を深め奉仕活動の意義を広めよう」というものでした。

我々2760地区は国内で会員数も1番で日頃の活動も活発で誇れるものと我々は考えていますが、それが組織の拡大とは結びつがず会員数は徐々に減少の一途をたどっています。その為、次期から「公共イメージ向上委員会」を発足させロータリーのイメージを強力に世間に広めようというものです。具体的にはソーシャルメディア(Facebook、Twitter、YouTube)を活用して一人ひとりが双方向に地域と結び合う事、ウェブサイトの「MY ROTARY」に会員の半数以上登録して欲しい、また地域の人々と直接ふれあうことの出来るWFFへの積極的な参加を願いますという事でした。

最後に、雑誌「ロータリーの友」(現在発行部数95,000部)の有効利用、例えばイベントの際に多数取り寄せ一般参加者に配布する等、そして会員の投稿も大いに歓迎します。

とにかくロータリーの公共イメージをマスメディアは勿論ソーシャルメディアを大いに利用して積極的に広めていこうという事でした。

第5分科会

職業奉仕

足立 一郎君



分科会テーマ「職業奉仕について」東三河分区高桑次期ガバナー補佐の挨拶の中でポリオプラスは31年前に始まり、初めのころは35万人が感染していたが今年はパキスタンなどで60人弱まで減少して、次年度は0の可能性が有ります。

今までに世界のRC全体でポリオ撲滅に1600億円支援し、日本は100億円支援している。全ての団体を含めると全世界で1兆円を超える支援がありました。

また2000万人以上のボラティアが活動してこれまでに1000万人以上の子供たちの命が救われました。

匹田次期地区職業奉仕委員長より「職業奉仕とは」顧客満足度を上げるサービスである

自分の職業を通してみんなに奉仕する

One profits most who serves best 最も多く奉仕するもの 最も多く報われる

職場例会は、自クラブでの会社訪問がベストである職業倫理感の向上を見て、企業のセールスポイントを見出し①顧客を満足させる ②倫理観の必要性 ③みんなが提供しているものを褒める、以上3つのことが大切である。

職業奉仕はロータリーを樹に例えるなら幹である職業奉仕無くてはロータリーは語れず、例会の出席こそが職業奉仕の入り口である。

最後に、フェイスブックを積極的に活用することで、RCの情報が早く広まる事をお話しされました

第6分科会 青少年奉仕関連

松岡 多加倫君



第6分科会は青少年奉仕についての報告でした。

ロータリーが行う青少年奉仕は、インターアクト、ローターアクト、ライラセミナー、青少年交換の4種類の委員会が存在しますが、近年、いつ起こるかかわからない天災、事故、テロ行為などの事件が発生した場合の対処法を考える、危機管理委員会が発足している。

まだ卓話を行っていないクラブには、是非とも声掛けを頂きたいとのことでした。

我が名古屋千種ロータリークラブでも、ローターアクトやインターアクトをサポートしているクラブであるため、その危機管理委員会の存在とそのマニュアルなど、十分に理解をしておく必要があるように感じた。

また、次年度から青少年交換委員会に出向するが、留学生を引き受けてくれるロータリーファミリーを大募集している。

ホストファミリーバンク登録を受け付けていますので、興味のある方は是非、私にご連絡ください。



テーマ
「世界で良いことをしよう。
ロータリー財団 100 周年を迎えて

次年度は『ロータリー財団創立 100 周年』という年にあたり、本会議では特に時間を取り、恒久基金／大口寄付アドバイザーの相澤光春 2013-14 年度第 2780 地区（神奈川）ガバナーにより”ロータリー財団 100 周年”をテーマとするスピーチが行われました。

ロータリー財団関連部門の第 8 分科会でも、勿論、”100 周年”にスポットを当てて、次年度は 1 人 180 \$ の目標が強調されました。地区として、過去最高の寄付額を目指すという事でした。そして各クラブでも”100 周年”を記念して、社会へロータリー財団の浸透を図り、祝う事が求められました。

地区大会では”ロータリー財団創立 100 周年を祝う”として、特に記念行事が計画されており、次年度は『財団創立 100 周年』一色の年になりそうな勢いです。勿論、『ポリオ撲滅』は財団の一番の目標であり、2018 年の”撲滅”に向けて全力を傾けるという事でした。

それから今まで「オリコ」のみのロータリークレジットカードでしたが、現在、クラブ自身の決済用としての「ロータリーダイナース」クラブカードが発足したので、申し込みを勧奨されました。

財団補助金は、従来通り「地区補助金」「グローバル補助金」です。グローバル補助金の中には日本から海外大学院へ留学する学生に提供される”奨学金”と、ロータリー平和センターが平和研究者へ提供する”奨学金”もあります。職業研修チーム（VTT）を支援する補助金もグローバル補助金から提供されます。

ただ地区内で財団補助金に関するトラブルも発生しているという事で、地区の委員会はかなり神経質になっています。今後、地区補助金・グローバル補助金の申請も厳しくなるかもしれません。

どちらにしても財団寄付の依頼額が増えそうです。何卒ご協力を頂きます様お願い申し上げます。

の 17545 名(2013 年 7 月現在) におよぶ外国人留学生を支援し、又、米山奨学金を受けた後の奨学生たちは母国で、日本で、世界で「米山学友」として活躍している事を学びました。テーマである「未来へ向かって、世界平和への架け橋となろう」はまさに私たちロータリアンが主役である米山記念奨学事業の事ではないだろうかと思いました。

日本に留学している奨学生たちは、みんな日本が大好きです。私たちロータリアンの平和を愛する心を奨学生たちに伝え、この愛知から一本でも多くの架け橋を世界に架けていきたいと地区委員会は願っています。ロータリアンの皆様のより一層のご理解とご協力を心からお願いいたします。

現・次年度合同クラブアセンブリー 4/26

各委員会 年間活動支出報告
次年度引き継ぎ事項報告

4 月理事役員会報告（現・次年度合同） 4/26

審議報告事項

- 1) 地区依頼 熊本地震義捐金について
50,000 円寄付 (@1,000×会員数を目安)
ニコ特別基金より支出
- 2) 社会奉仕委員会
先月理事役員会再審議事項
名古屋市内 25RC 社会奉仕事業提案について
次年度申請案無し
- 3) IAC 年次大会実行委員会
先月理事役員会承認事項 IAC 年次大会運営拠出金につき提唱クラブ 東・昭和 RC へお願いと共に年次大会の PR 訪問（運営委員長・会長・桜花学園 IAC ヌバ - 3 月 28 日・4 月 4 日例会訪問）
15 日付 2760 地区各提唱クラブ 関係各位案内済み
大会当日の委員会構成表（案）提出【別紙】要修正
検討後あらためて会員各位報告案内
- 4) 今期決算予定について
2 月理事役員会提出分決算予定書に修正提出



13 時より本会議が始まり、出席者 1530 名と広い会場をピッシリ埋め尽くす盛況であった。14 時 20 分、第 9 分科会（米山記念奨学関連部門）に会場を移し、私にとって米山委員担当は初めてなので、不安のうちに説明会を受けました。

開会の辞・リーダー挨拶・次期ガバナー補佐挨拶に始まり、
・寄付増進について
・奨学生選考について
・世話クラブの役割について
・地区委員会とは、を手引書、米山記念奨学事業「豆辞典」、米山寄付金マニュアルをプロジェクターを使用して解説していただき、特に金田英和委員長のお話は、新米の私にもよく理解出来ました。

今回の分科会で学んだ事は、米山奨学金は日本独自の、民間最大の国際奨学事業で、世界 121 の国・地域出身



Rotary.org 掲載より

【規定審議会のまとめ】

今回の審議会では、例会スケジュールや会員身分に関してより多くの裁量をクラブに委ねる立法案や、3 年にわたって 4 ドルずつ人頭分担当金を増額する立法案が採択されました。この増額による収入は、ロータリーウェブサイトを含むオンラインツールの改良と、クラブにおける会員増強を支えるプログラムや業務提供のために使用されます。

ロータリーのガバナンスにとって重大な決定を行う規定審議会は、3 年ごとにシカゴで開催され、世界中から集まる代表議員がロータリーの組織規定に変更を加える立法案を審議します。審議会で採択された変更は、7 月 1 日より有効となります。

今回の審議会は、柔軟性を増加する案件に多くの注目が集まりました。一つは、クラブが月に少なくとも 2 回以

上の例会を行う限り、いつ、どのくらいの頻度で例会を開くか、あるいは例会をキャンセルするか、また何をもって例会とするかについて、より多くの裁量をクラブに与えるものです。もう一つは、会員身分について新しい試みができる柔軟性をクラブに与えるものです。これらの案件はいずれも採択されました。

代表議員はまた、RI 定款から会員資格 6 項目を削除し、「職業上および（または）地域社会でよい評判を受けており、地域社会および（または）世界において奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格に変える案件も採択しました。

人頭分担金における年 4 ドルの増額は、増額または抜本的なコスト削減をしないと、2020 年までに一剰余金が必要レベルを下回るとする財務 5 年計画を基に決定されました。この決定により、人頭分担金は 2017-18 年度に 60 ドル、2018-19 年度に 64 ドル、2019-20 年度に 68 ドルに増額されます。それ以降の年度の額については次回の規定審議会で討論されます。

グレッグ E. ポッド RI 副会長は、「現在の枠組みを越えて、ロータリーの未来について考えなければならない」と述べ、人頭分担金による収入が増加すれば、My ROTARY を改良し、会員増強を支えるリソースをクラブに提供し、クラブと地区の報告を簡素化し、ローターアクターもウェブサイトを活用できるようになり、変化する世界の標準に合わせてシステムを修正することが可能になると説明しました。

規定審議会では上記のほかにも重要な決定がなされました。

・毎年オンラインで開催する決議審議会の創設が承認されました。決議審議会では RI 理事会に提出する決議案の検討が行われることとなり、これにより、3 年に 1 度開かれる規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案に集中して審議することが可能となります。3 年任期で選出される代表議員は、決議審議会に毎年出席し、最後の年に規定審議会に出席します。本件の提案者は、この変更に伴い規定審議会を 1 日短縮できれば最大 30 万ドルの費用削減につながるとの予見を発表しました。

・ローターアクターが同時にロータリークラブの正会員となることを認める制定案も採択されました。本件の提案者は、30 歳という年齢上限を迎える前にローターアクトを去ることに消極的なローターアクターが多いため、ロータリーに入会するローターアクターが極めて少ない（5%程度）ことを主張しました。より多くの選択肢をローターアクターに与えることで、多くの資格ある若いリーダーにロータリー入会への道を開けるようになることが期待されます。

・従来型クラブと E クラブに区別をなくす立法案が採択されました。これは、クラブが既に多様な方法で柔軟に例会を開いており、従来型と E クラブを区別する必要がないと判断されたためです。ただし、クラブ名に“e-club”（E クラブ）が入っているクラブは、その名称を維持できます。

・細則から入会金への言及箇所が削除されます。本件の提案者は、入会金への言及は、ロータリーの現代的なイメージを促進するものではないと主張しました。

・会員増強が組織の最優先事項であることを認識し、会員増強の常設委員会が設置されました。また、ポリオ撲滅が最優先される目標であることが再確認されました。

◆同好会報告
ゴルフ会

4月 21 日（木）
愛知カンツリー倶楽部



今回は 6 名のメンバーとなりました。朝早く、7:42 のスタートで、17・18 番で少し雨にいましたが全体に快適でした。

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	林 永芳	45	42	87	12.33	74.67
2 位	大口弘和	47	49	96	18.50	77.50
BB	鍋野可幸	55	59	114	32.07	81.93



ニコボックス

堀江 宏輝

ホームクラブご無沙汰しました

林 永芳

千種 RC ゴルフ会に始めて優勝しました。

最近絶好調です。ご夫人お誕生日お祝い

小林 英毅

先週 22 日ブルーノートで行われたジャズヴァイオリニストの寺井尚子さんの演奏会に、音楽同好会の皆様と行ってきました。想像以上のハイレベルの演奏に驚きあつという間の楽しいひとときでした。

鍋野 可幸

先日のゴルフ会でブービー賞でした

鈴木 聖三

鍋野さんから頂いた ナゴヤドームのプラチナチケットで中日-阪神戦を観戦しました。6-0 で勝って楽しい気分になり盛り上がりました。ありがとうございました。

大口 弘和

結婚記念日お祝い

山本 眞輔

結婚記念日お祝い

足立 一郎

萩原喜代子

池森 由幸

伊藤 健文

樫尾 富二

加藤 重雄

松岡多加倫

宮尾 紘司

三好 親

太田 和孝

大谷 恩

笹野 義春

鈴木 理之

竹内 眞三

舎人 経昭

碓氷 美佳

渡邊 源市

吉田 玄

地区研修協議会お疲れ様でした 計 25 件

合計 76,000 円

次回例会 平成 28 年 5 月 17 日（火） 12:30 4 階 舞の間
卓話： 愛知淑徳大学 名誉教授 大野 光子様 「ソフトパワーの国 アイルランドへの招待」